

文章の書き方

山本和彦
(株)インターネットイニシアティブ
kazu@iij.ad.jp

文章とは「心」

- この講義の内容は、文章に関する「技術」論
 - 例) 受動態を使うな、能動態を使え
 - 例) 否定文を使うな、肯定文を使え
- しかし、文章にとって大切なのは「心」
 - いつもイライラしている人に
落ち着いたのある文章が書けるだろうか？
 - おおざっぱな人に緻密な文章が書けるだろうか？
 - 意地悪な人に心温まる文章が書けるだろうか？
- 文章には、両輪が必要
 - 伝えたいと (心)
 - 伝えたいことを正確に表現できる技術

 - ◎ 「心」があって「技術」もある
 - ○ 「心」があって「技術」はない
 - × 「心」がなくて「技術」はある ← 小手先の文章

説明する前に深く理解せよ

- 説明したいことを本当に理解しているか？
 - "the" の典型的な説明
 - × 固有名詞には定冠詞は付けないのが原則である
 - Japan
 - × ただし、次のような場合には定冠詞を付けるのが普通である
 - the United States of America
 - the Soviet Union
 - 正しい説明
 - "the United States of America" の "the" が必要なのは、名詞 "state" を限定しているから
 - 文脈がすべて：固有名詞も限定されうる
 - the Japan I knew in 7 years ago
- 参考文献
 - マークピーターセン著：「日本人の英語」、岩波新書
- 深く理解してから説明しよう
 - 中途半端な理解で説明してはならない

クイズ

- エビ
 - 「蝦」と「海老」は何が違うのか？
- ソメイヨシノ
 - 桜はサクランボで子孫を増やす
 - ソメイヨシノは桜だが、サクランボはならない
 - ソメイヨシノは、どうやって子孫を増やすのか？
- 微分と積分
 - 微分と積分は逆演算の関係にある
 - 微分とは接線を求めることである
 - 積分とは面積を求めることである
 - 「接線を求めること」と「面積を求めること」が、どうして逆の関係にあるのか？

話し言葉と書き言葉

- 両者は近づけるべきだが、異なる
 - 喋る言葉は流れていく
 - 書いた文章は残る
- 文章は丁寧に書こう
 - 時間をかけて丁寧に
 - 誤植や「言葉の揺れ」はできるかぎり排除しよう
 - 何度も読み返そう
- 「文章とは削ることと見付けたり」 --- 島尾敏雄
 - 名文は削れ
 - 書いては削り、書いては削る
 - 同じ内容を表現できるなら、短い方がよい

言葉の揺れ

- 「言葉の揺れ」があると、悪い印象を与える
 - 文章を丁寧に書いていない
 - 文章の基礎を身に付けていない
 - × お客様には、新しいサーバを御使い頂くことをお願いします。新しいサーバは常時利用できますので、お客さまには、満足していただくと確信しています。また、必要であれば、複数のアカウントを発行する事も出来ます
- 問) 上記の例題から言葉の揺れをなくしなさい
- 日頃から表記を統一するように心がけよう
 - 自分なりの表記を確立しよう
 - 普段書くメールでさえも、表記を統一するように

論理構造を考えよう

- 主語、目的語、述語をはっきりさせよう
 - × この ML に田中さんを登録して下さい。
なお、次の日曜日は参加できません
 - ○ この ML に田中さんを登録して下さい。
なお、私は次の日曜日は参加できません
 - × 家族の日曜日の都合が悪くなったので、
釣りに行くのは日曜日に変えてもらえませんか？
 - ○ 土曜日に釣りに行く約束をしていましたが、
日曜日に変えてもらえませんか？
家族と日曜日に遊園地へ行くと約束していたのですが、
都合が悪くなり、土曜日に変更する必要が出てきました
- 問) 以下の例文を論理構造が分かるように
修正しなさい
 - × 法律用語は難解で敬遠されがちだが、
一旦理解すれば曖昧さがないので強く支持されている

一休み

- 主語と述語が対応していない有名な例

- 中島敦：「山月記」

一行が丘の上についた時、彼等は、言われた通りに振返って、先程の林間の草地を眺めた。

忽ち、一匹の虎が草の茂みから道の上に躍り出たのを彼等は見た。

虎は、既に白く光を失った月を仰いで、

二声三声咆哮したかと思うと、

又、元の叢に躍り入って、再びその姿を見なかった

- 虎は、再びその姿を見せなかった

- 一行は、再びその姿を見なかった

受動態

- 受動態を使うな、能動態を使え
 - × ガンの特效薬が開発されました
 - 主語が明示されないのはもったいない
 - ○ 我が社は、ガンの特效薬を開発しました
 - × フェルマーの最終定理が証明された
 - 誰の功績なのかぐらい調べよう
 - ○ ワイルスがフェルマーの最終定理を証明した
- 問) 以下の文章から不要な受動態を取り除きなさい
 - × 高速なルータが発売されたので、
バックボーンの増強が進められています

否定文

- 否定文では説明したことにならない
 - × ハッカーはクラッカーじゃない！
 - ハッカーとクラッカーが違うことは分かるけど。。。○
 - ハッカーとは何か？
 - クラッカーとは何か？
 - ○ ハッカーは腕の立つプログラマーのことだ。
悪者のクラッカーじゃない！
- 「ように」を否定文と一緒に使うと意味不明
 - × ジュゴンのように、マナティは魚ではない
 - ジュゴンが魚であるが、マナティは魚ではない？
 - ジュゴンが魚でないように、マナティは魚ではない？
- 問) 以下の否定文を肯定文に直しなさい
 - × 機密性(confidentiality)とは、
通信の内容が盗聴されないことである
 - × 報道の自由とは、有名人のプライバシーを暴いてよい
ことではない

変だ

- 何が正しいのか説明されない言葉
 - 変だ
 - 間違い
 - おかしい
- 何が正しいのか説明しよう
 - × ルピナスが秋に咲くのは変です
 - ○ ルピナスは春に咲く花です。秋に咲くのは変です
- 以下の例文を何が正しいのか分かるように直しなさい
 - × 和食にワインを合わせるのは、おかしい
 - × スーツを着ているのに、スニーカーを履くのは変だ

疑問文

- 疑問文は書き手の意図と異なる印象を与える
 - × これまでの内容は理解できたでしょうか？
 - 読者：そんなこと訊く時間があるなら、理解できるように書けよ...
 - ○ これまでの内容は十分理解できたと思います
 - A: 会議室が空いているか教えて下さい
 - B: × 会議室とは、会議室1ですか？ 2ですか？
 - A: 2つしかないんだから、両方教えてよ...
 - B: ○ 会議室1は予約されていますが、2は空いています
- 疑問文を使ってもよい場合
 - 本当の疑問
 - 読者に考えてもらいたい課題 (効果的な疑問文)
- 効果的な疑問文の例
 - ○ 国家の安全保障と個人のプライバシーとでは、どちらが大切だろうか？
 - ○ 末期患者の死ぬ権利は認められるべきだろうか？

語感に鋭くなるう

- 言葉の意味を知ろう
 - 「考える」と「思う」
- 漢字
- カタカナ
- 言葉の品性

言葉の意味を知ろう

- 「考える」と「思う」
 - ○ 将来のことを考える ○ 将来のことを思う
 - × 恋人を考える ○ 恋人を思う
 - ○ 献立を考える × 献立を思う
- 問) 以下の条件に合う言葉を挙げなさい
 - 「考える」としか言えない言葉
 - 「思う」としか言えない言葉
- 「考え出す」と「思い出す」
 - ○ 解決方法を考え出す × 解決方法を思い出す
 - × 昔のことを考え出す ○ 昔のことを思い出す
- 問) 「考える」と「思う」はどう違うか？
- 参考文献
 - 大野 晋：「日本語練習帳」、岩波新書

漢字

■ 問) 以下に示す言葉の意味を述べよ

- 「聞く」 「訊く」 「聴く」
 - 「見る」 「観る」 「看る」 「視る」 「診る」
 - 「取る」 「撮る」 「録る」 「採る」 「獲る」
 - 「穫る」 「摂る」 「捕る」 「盗る」 「執る」
 - 「計る」 「測る」 「量る」
 - 「作る」 「造る」 「創る」
 - 「乗る」 「載る」
 - 「特徴」 「特長」
 - 「保障」 「保証」 「補償」
 - 「伸びる」 「延びる」
 - 「駈ける」 「駆ける」
- 辞書を引く習慣を付けよう
- 国語辞典
 - 用字用語辞典

カタカナ

- カタカナばかりの文章は読みにくい
 - × このワーキンググループでは、メンバーのコンセンサスをベースにプロトコルをデザインする。そして、インプリすることで、その正しさをチェックする
 - ○ この分科会では、会員の合意に基づいて、通信規約を設計する。そして、実装することで、その正しさを検証する
- 目立たせたい単語をカタカナにするのはよい
 - ○ この分科会では、会員の合意に基づいて、プロトコルを設計する
- カタカナばかりだと日本語の語彙力を疑われる
- 問) 以下の例文から不適切なカタカナを削りなさい
 - × ブレーク中のバンドのチケットをゲットした
 - × ストラテジーを立てるスキームを決めよう
 - × コンフィグの方法について書かれたドラフトのレビューを頼まれた

言葉の品性

- 悪貨は良貨を駆逐する
- 品のない「むかつく」
 - × 「あいつ、むかつくー」
 - 問) 「むかつく」という言葉を使った
伝統的な表現の文章を作りなさい
- 自信のなさが表れている「微妙」
 - A: 「あの映画面白い？」
 - × B: 「微妙～」
 - 問) 「微妙」という言葉を使った
伝統的な表現の文章を作りなさい

文章が下手な人に多い言葉

- 行う
- 非常に
- 美しい (単純な形容詞)
- もの
- ～ことができる
- ～的
- 注釈と括弧

行う

- 文章の柱は動詞
 - 動詞を豊かに使うと、文章に落ち着きが出る
- 「行う」は、文章を貧しくする
 - × 会議を行う
 - ○ 会議を開く
 - × 利用率の調査を行う
 - ○ 利用率を調査する
- 形容詞ではなく、副詞を使え
 - × 形容詞＋名詞＋行う
 - ○ 副詞＋動詞(名詞＋する)

 - × 活発な議論を行う
 - ○ 活発に議論する
- 問) 以下の例文から「行う」を取り除きなさい
 - × 適切な設定を行うための情報
 - × サーバにかかる負荷の軽減を行う
 - × 標準機能のみで行える

非常に

- 「非常に」は仰々しい割に、
なんら程度が伝わらない
 - × 今朝は非常に寒かった
 - 「今朝は寒かった」とどう違うのか？
- 「非常に」は削れ
 - ○ 今朝は寒かった
- 程度を伝えたいなら、詳しく描写しよう
 - ○ 今朝は水道が凍り、霜が降りていた。
セーターを余分に着込んで外出したが、
駅まで耐えきれず、途中のコンビニで暖をとった
- 問) 以下の例文から「非常に」を取り除き、
程度が伝わる文章に直しなさい
 - × この時間は電車の中が非常に混雑している
 - × ブラジルは非常に遠い国だ
 - × 沖縄に雪が降るのは非常に希だ

美しい

- 「美しい」では、美しさが伝わらない
 - × アジサイが美しかった
- 単純な形容詞ではなく、言葉を尽くして描写しよう
 - ○ 赤紫や青紫のアジサイが、雨後の光に照らされて、色鮮やかに咲き誇っていた
- 問) 以下の例文から「美しい」を取り除き、美しさを表現しなさい
 - × 夕日が美しかった
 - × 車窓から見た銀世界が美しかった

もの

- 意味の広い「もの」はピンボケ
 - × インターネットにはメールというものがある
 - ○ インターネットにはメールというサービスがある
 - ◎ メールは、インターネットで重要なサービスの一つである
- 日本語の特性
 - 日本語は概念を扱うのが不得意
 - 概念を「もの」に変えないと不安に感じる
- 「もの」は削れ
 - × 人には思い入れというものがあり
 - ○ 人には思い入れがあり
- 以下の例文から「もの」を取り除きなさい
 - × 行き方には以下のものがあります
 - × この機能は標準で利用可能なものです

～ことができる

- 「～ことができる」は冗長な印象を与える
 - × 高速に処理することができる
 - ○ 高速に処理できる

- 和語ではなく、漢語を使え
 - × 和語 + ことができる
 - ○ 漢語 + できる

 - × 経験を蓄えることができた
 - ○ 経験を蓄積できた

- 問) 以下の例文から「ことができる」を削りなさい
 - × 考えることができる
 - × 自由な設計を行うことができる
 - × 後から置き換えるということが出来る

～的

- 「～的」は、共通理解のない言葉を作る
 - × 昔のメールは、ハブ的ホストを介して配送した
 - ○ 昔のメールは、拠点となるホストを介して配送した

 - × ネットワーク的に遠い場所にある
 - ○ 通信に時間のかかる場所にある

- 共通理解のある例
 - 客観的、意図的、効果的、自動的、基本的、一般的

- 以下の例文から「～的」を削りなさい
 - × 僕的に言えば、
 - × 今日の気分的には、
 - × 時間的には、余裕がない
 - × メールの管理に役立ててくれ、的な内容にしたい

注釈と括弧

- 注釈があると読みにくい
 - 目を離れた場所へ動かす必要がある
 - 注釈を付ける必要がある説明は、例外があり、汎用的でない
- 注釈は削り、汎用的な説明を考えよう
 - × 哺乳類の特徴は、子供を産み(註1)、育てることである
 - × 註1：カモノハシは卵を産むが、哺乳類に分類されている
 - ○ 哺乳類の特徴は、乳で子供を育てることである
- 括弧も削れ
 - × サメは、交尾し子供を産む(卵を産むサメもいる)。だから、鮫は魚偏に交わると書く
 - ○ サメには、卵を産む種類と子供を産む種類がいる。後者は交尾をする。だから、鮫は魚偏に交わると書く
- 注釈と括弧の必要ない文章を考えよう

曖昧さの排除

- 不用意に使うと意味が曖昧になる言葉
 - 順接の「が」
 - 「も」
 - 「の」
- 「近年のよく知られている印刷された駄作は、驚くほど多くのブレークやダッシュで区切られている」 --- ジョナサン・スウィフト
 - 「下手な文章は、驚く程多くの順接の『が』と曖昧な『も』『の』でつながられている」 --- 山本和彦

順接の「が」

- 接続詞「が」には、順接と逆接がある
- 逆接の「が」は読者の期待通り
 - ○ 今日は晴れでしたが、明日は雨でしょう
- 順接の「が」は読者の期待を裏切り、論旨が追えない
 - × 今日は晴れでしたが、明日も晴れでしょう
- 順接の「が」のところで文章を切る
 - ○ 今日は晴れでした。明日も晴れでしょう
- 順接の「が」は、話題提供のときのみ使え
 - ○ 先日お話しした件ですが、うまくいったのでお知らせします
- 問) 以下の例文から順接の「が」を削りなさい
 - × 個人情報保護法が施行されたが、その効果が徐々に現れてきた
 - × それぞれのサーバで設定しなければならないことだが、基本的なことなので理解しておきたい

「も」

- 「も」 を使うと曖昧
 - × 大阪から東京へは新幹線で行く方法もある
 - 他の方法は何なのか分からない
- 「も」 は「A も B も」と使う
 - ○ 大阪から東京へは、
飛行機で行く方法も新幹線で行く方法もある
- A が自明な場合
 - ○ 大阪から東京へは飛行機で行く方法がある。
新幹線で行く方法もある
- B がないなら、別の言葉に置き換えよう
 - ○ 大阪から東京へは新幹線で行く方法がある
- できるかぎり「も」はなくそう
 - 「も」を使わないとしっかりこない場合にのみ使おう
- 問) 以下の例文から曖昧さをなくしなさい
 - × 今日も天気が悪かった。夜には雷も鳴り出した。
帰りの電車も遅れ、売店も閉まり、傘も買えなかった

「の」

- 「の」を不用意に用いると文章が曖昧になる
 - × 父の写真
 - 父を写した写真？
 - 父が持っている他の人を写した写真？
 - 父が撮影した写真？
 - × 東京の兄の家
 - 東京に住んでいる兄が所有している(どこかにある)家
 - (どこかに住んでいる)兄が東京に所有している家
 - 東京で兄が住んでいる家
- 問) 以下の例文に対し、可能な解釈を列挙しなさい
 - × 私の本
 - × 実家の妹の車

効果的な文章

- のだ
- 文と段落

のだ

- 「のだ」の乱用はくどい
 - × 春が近付くと日本人は、桜を思う。
咲くのは明日か明日かと気になるのだ。
桜は短い期間咲き誇り、潔く散るのである。
そんな桜に日本人は和の心を感じるのだ
- 「のだ」は主張や結論に使おう
 - ○ 春が近付くと日本人は、桜を思う。
咲くのは明日か明日かと気になってしかたがない。
桜は短い期間咲き誇り、潔く散る。
そんな桜に日本人は和の心を感じるのである
- 問) 「のだ」を有効に使った文章を作りなさい

文と段落

■ 文は長短を織り交ぜよう

■ 中島敦：「山月記」

谷川に臨んで姿を映して見ると、既に虎となっていた。
自分は初め眼を信じなかった。
次に、これは夢に違いないと考えた。
夢の中で、これは夢だぞと知っているような夢を、
自分はそれまでに見たことがあったから。
どうしても夢でないと思わなければならなかった時、
自分は茫然とした。
そして懼れた。
全く、どんな事でも起こりうるのだと思うて、深く懼れた。
しかし、何故こんな事になったのだろう。
分からぬ。
全く何事も我々には判らぬ。
理由も分からずに押付けられたものを大人しく受取って、
理由も分からずに生きて行くのが、我々生きもののさだめだ

■ 段落は概ね同じ長さにしよう